

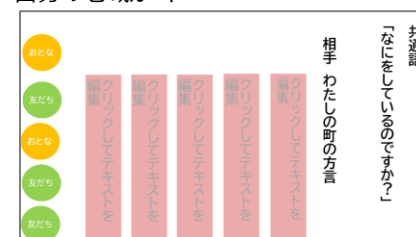
学年	教科等	単元等	活用アプリ
中1	国語	日本の言語文化「方言と共通語」	オクリンクプラス キーワード集計
授業 内容	共通語と方言の果たす役割について理解する		
<div>準備：</div> <div><ul style="list-style-type: none">共有コードを使用してカードを取得する。授業を作成しカードを子供たちのマイボードに送信する。みんなのボード「自分の地域」「使うシーン」を用意する。</div>			
<div>授業の流れ：</div> <div><ol style="list-style-type: none">マイボードに配布されたカードから、見本のカード「兵庫県の方言カード」を開いて見る。兵庫県の方言を参考にしながら、自分の地域の方言を考える。入力用のカードを開き、自分の地域では、「なにをしているのですか？」をどんな方言で表現するのか、考えた方言を入力する。その方言に、「こども」や「おとな」等で違いがあればマークを方言の上に置く。作成したカードをみんなのボード「自分の地域」に送り、みんなで共有する。自分と同じ方言を選んだ友だちのカードにリアクションをし、知らない方言を見つけたらコメントをする。次に、「どのような場面で「方言」を使いますか」「どのような場面で「共通語」を使いますか」を考えて入力する。みんなのボード「使うシーン」に送り、みんなで共有する。キーワード集計をして、どんなシーンでどんな言葉を用いるのかをクラス全体で確認する。ペアになり、方言のみで会話・共通語のみで会話する。「使うシーン」のボードに出されたみんなの意見を参考にして、各自で方言・共通語を使う場面をマイボードの自分のカードにまとめ、最後に提出BOXへ提出する。</div>			
サポータ おすすめ ポイント	<div><ul style="list-style-type: none">導入では、正解のないワークに取り組み、自分の地域の方言に触れることができます。楽しく会話をすることで、方言と共通語のそれぞれの良さに気づくことができます。全体で共有することで、知らなかった方言、共通点や相違点を見つけることができます。</div>		

見本のカード
<div><div>共通語</div><div>「なにをしているのですか？」</div><div>相手</div><div>わたしの町の方言</div><div>なにしょってんですか？</div><div>なにしょっん？</div><div>なんしょんねん？</div><div>なにしょんといや！</div><div>なにされとんですか？</div></div>
自分の地域カード
<div><div>共通語</div><div>「なにをしているのですか？」</div><div>相手</div><div>わたしの町の方言</div><div>なにしょってんですか？</div><div>なにしょっん？</div><div>なんしょんねん？</div><div>なにしょんといや！</div><div>なにされとんですか？</div></div>
方言、共通語を使う場面のカード
<div><div>どのような場面で「方言」を使いますか。</div><div>家族や友達との会話。気を つかわない時の会話。</div><div>どのような場面で「共通語」を使 いますか。</div><div>面接や面談。かしこまった 場面や知らない人の会 話。</div></div>
共有コード
<div>共有コードを入力、または カメラを起動して 二次元コードを読み込む</div> <div></div>
pb01JYDEJNVW51DK8V8E9N9GHNQ3

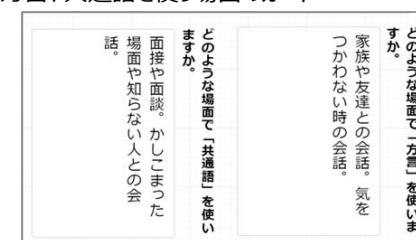
見本のカード



自分の地域カード



方言、共通語を使う場面のカード



共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



pb01JYDEJNVW51DK8V8E9N9GHNQ3